

## お役者文七捕物暦 蜘蛛の巣屋敷 (1959)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 サスペンス

製作国 日本

色彩 Color

時間 98分

初公開日 1959/04/01

### 【解説】

横溝正史の推理小説『蜘蛛の巣屋敷』の映画化。「忠臣蔵 櫻花の巻・菊花の巻」の比佐芳武がシナリオを書き「右門捕物帖 片眼の狼」の沢島忠がメガホンをとった。主人公の中村錦之助をはじめ、名門播磨屋一家（父と四兄弟）が揃って共演していることも話題に。

文七は今をときめく歌舞伎役者の播磨屋敷歌六の息子だったが、今はやくざ姿の遊び人になっていた。闇夜に腰元を追う奇怪な覆面の武士たちに遭遇した文七は、こともあろうに彼らに金をたかり始め、刀で傷つけられてしまう。同じ夜、勝田藩江戸藩邸で輝姫が土蜘蛛の精に操を奪われるという大事件が発生していた。与力の池田大助に昨夜の一件を訴えるが、まったく信じてもらうことができないため、文七は自分でこの事件を解決しようと決意。役者だったころの経験を生かし、変装をして捜査に乗り出すのだった。

### 【クレジット】

監督 沢島忠

企画 辻野公晴

小川貴也

原作 横溝正史

脚本 比佐芳武

撮影 坪井誠

美術 井川徳道

音楽 鈴木静一

出演 中村錦之助

中村時蔵

中村賀津雄

中村芝雀

中村歌昇

桜町弘子

花園ひろみ

片岡千恵蔵